

教科名	国語	週時間数	4時間	学年	1年
使用教科書 副教材等	・教科書 現代の国語 Ⅰ(三省堂) 中学書写(光村図書) ・副教材 学習漢字ノート(浜島書店) 国語の学習(浜島書店) 新・国語の便覧(正進社) すらすら基本文法(浜島書店) 基礎をきづく(浜島書店)				

教科のねらい	<p>言葉の意味、働き、使い方等に着目しながら、言語活動を通して、国語で表現された内容や事柄を正確に理解する資質・能力、国語を使って内容や事柄を適切に表現する資質・能力を身に付ける。</p> <p><知識及び技能>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事など、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 <p><思考力、判断力、表現力等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 <p><学びに向かう力、人間性等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 							
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を中心に進めながら、必要に応じて、ワーク、プリント等を活用する。 自力解決に加え、4人班を中心としたグループで課題に取り組む。 発表・音読・スピーチ・表現活動等、生徒一人一人が活動できる工夫を行い、興味・関心を高める。 							
定期考査	出題方針	授業内容を中心に、観点別の問題を出題する。(読解問題を中心として、言語・作文問題など。)漢字問題は、「学習漢字ノート」より出題。						
	範囲 (予定)	1学期中間	詩	物語	説明文	文法	漢字	作文
		1学期期末	物語	説明文	文法	漢字	書写	作文
		2学期中間	物語	説明文	文法	漢字	作文	
		2学期期末	古典	詩	物語	文法	漢字	作文
		学年末	説明文	物語	文法	漢字	作文	
	主体的に学習に取り組む態度	課題への取り組み方、提出物等						
思考力・判断力・表現力	作文、学習プリント、発表内容、聞き取りテスト、定期テスト(話す・聞く、書く、読む)等							
知識・技能	漢字小テスト、書写、暗唱、定期テスト(漢字・文法・古典知識・文学史等)等							
学習方法 (先生からの アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをしっかりと持った上で、他の人の考えを聴く。 わからないことをそのままにせず、復習、漢字テスト勉強等、自ら学習を進める。 新聞や本を読み、多様な表現に触れたり、知識を深めたりする。 							

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	・詩	「朝のリレー」	◎詩の表現について学び、情景を想像する。
		・物語	「竜」	◎描写をもとに心情の変化を捉える。
	5	・説明文	「ペンギンの防寒着」 「クジラの飲み水」	◎段落同士の関係に着目して文章の展開を捉え、内容を読み取る。
		・言語	「言語発見」	◎話し言葉と書き言葉の違いを知る。
	6	・物語	「空中ブランコ乗りのキキ」	◎登場人物の判断や行動について自分の考えを持つ。
		・文法	「文法の窓1」	◎言葉の単位や文節の関係について学ぶ。
	7	・随筆	「字のない葉書」	◎登場人物の行動や描写に注意して読み、平和と家族愛について考えを深める。
2	9	・説明	「玄関扉」	◎論の展開・構成をふまえて、文章の要旨を捉える。
		・古文	「竹取物語」	◎古典の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。
	10	・漢文	「故事成語」	◎訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。
	11	・文法	「文法の窓2」	◎単語の類別、品詞について学ぶ。
		・詩	「それだけでいい」	◎表現に着目しながら読み、その特徴を効果について自分の考えを持つ。
	12	・物語	「トロッコ」	◎情景描写と場面の展開に着目して、心情の変化を捉える。
3	1	・説明文	「意味と意図」	◎必要な情報に着目して要約したことをもとに、自分の考えを深める。
	2	・物語	「少年の日の思い出」	◎過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、心情の変化や人物の相互関係を読み取る。
		・古典	「百人一首」	◎日本の伝統文化に親しむ。
	3	・言語	「言葉発見」	◎方言と共通語の違いについて学ぶ。

- ・漢字学習については、副教材で進めていく。
- ・書写については、2学期を中心に取り組んでいく。(15時間程度)
- ・3学期に百人一首大会を実施予定。